

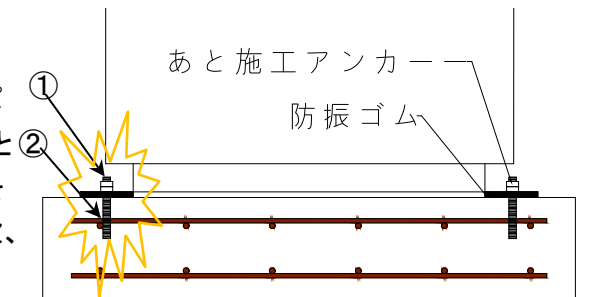
種別	工種	事例名	シート番号
騒音・振動	給排水	あと施工アンカーと基礎鉄筋との接触による躯体伝搬	3-1

### 不具合事例・状況

マンション物件において、最上階の入居者より、「寝室にて異音がして眠れない」との連絡があった。

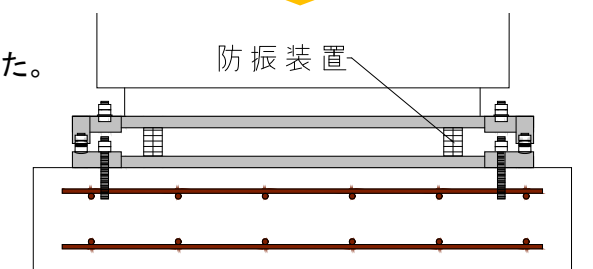
### 原因

現地調査の結果、屋上ハト小屋の上に設置したディスプレイ用臭突ファンユニットの振動が躯体伝播していたことが判明。臭突ファンユニットは防振架台一体型ユニットを採用し、据付けは、アングル架台下部に防振ゴムを敷設、固定はあと施工アンカーにて行っていた。



- ①防振架台一体型臭突ファンユニットのアングル架台をあと施工アンカーにより基礎に固定した。
- ②あと施工アンカーとファンの基礎配筋が接触。
- ①、②より、ファンの振動が下階住戸へ異音として伝わった。

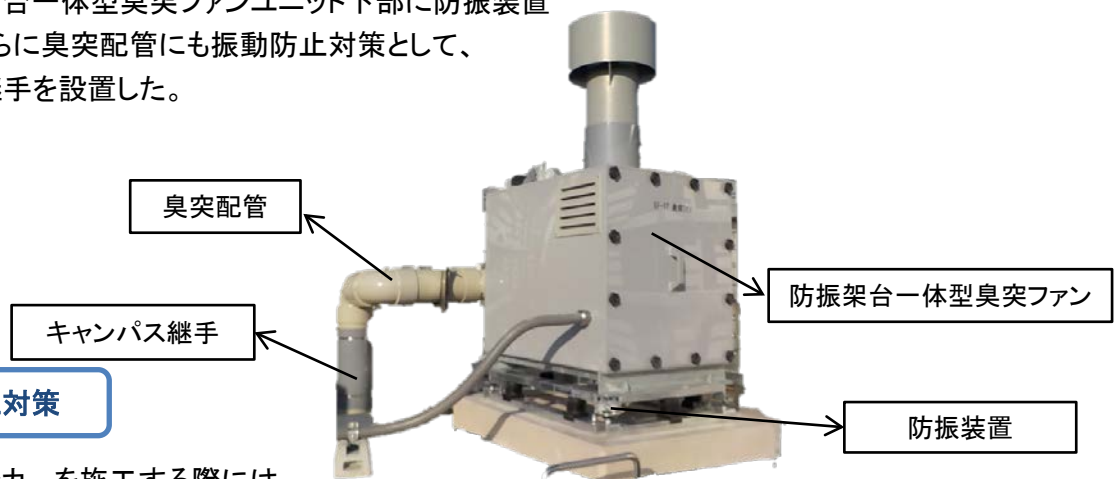
### 是正



### 対処方法

鉄筋探査にて鉄筋位置を確認し、接触しないようにあと施工アンカー(接着系)を施工した。

また、防振架台一体型臭突ファンユニット下部に防振装置を設置し、さらに臭突配管にも振動防止対策として、キャンパス継手を設置した。



### 再発防止対策

あと施工アンカーを施工する際には、基礎の配筋状況を確認する必要がある。また、ファンを設置する際には防振対策が必要であるが、基礎配筋、あと施工アンカー、ファン本体、架台などの接触による振動の躯体伝播の確認が必要。また先付け工法としての埋込みアンカーによる施工の場合においても、基礎鉄筋に接触しないように注意してアンカーをセットする。

備考	参考文献：	制定	2020年3月1日
	参考メーカー：	改訂	